

平成25年度「すまいスクール」タイアップ事業 採択結果について

●平成25年度「すまいスクール」タイアップ事業 採択結果

このたびは、「すまいスクール」タイアップ事業にご応募いただき誠にありがとうございました。今回19団体から19事業のご応募があり、平成25年9月21日（土）に「すまいスクール」事業選定・評価委員会（以下、委員会という。）による厳正な選定を経て、以下の8団体の8事業を採択しました。

●平成25年度「すまいスクール」（タイアップ型）に採択された事業の一覧

①特定非営利活動法人 住宅長期保証支援センター	「あなたの家の健康状態がわかる「住まいひょうか君®」」
②国際文化政策研究教育学会 （文化政策・まちづくり大学校 市民大学院）	「工作実習で簡単省エネ対策講座～手作り内窓であったか冬じたく～」
③京都左官協同組合	堀川出水団地リノベーション企画 団地でも土壁！！みんなで楽しく土壁を学び、土壁を塗る！！
④京都府建築工業協同組合	「作ってみよう！！ まちの棟梁に学ぶ昔の家・今の家」
⑤特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構	「マンション住まいの心得～『選ぶ』マンション『選ばれる』マンション～」
⑥特定非営利活動法人 京町家・風の会	「わが家をはじめて買う人へ ～資金計画と契約・決済までの流れ～」 「町家購入への道 ～資金計画と契約・決済までの流れ～」
⑦京のアジェンダ21フォーラム 共催 京都府地球温暖化防止活動推進センター	「工作実習で簡単省エネ対策講座～手作り内窓であったか冬じたく～」
⑧空気調和・衛生工学会 省エネルギー委員会住宅指針検討小委員会 共催 大阪・エコリフォーム普及促進地域協議会	「がまんせず、楽しく暮らせる健康的な住まいと住まい方」

採択に至らなかった団体につきましては、次回の募集時に再度チャレンジしていただくことを切に期待しております。

●委員会 選定総評

募集要項に設定された①防災・リフォーム・保守管理、②高齢期のすまい、③住教育・親子イベント、④住まい探しと不動産取引、⑤すまいとコミュニティ、⑥環境の6つのテーマに対して2～4の事業の応募があり、すまいまちづくり分野全般にわたる幅広い内容のご提案をいただきました。講座形式も、座学・相談会・ワークショップ・体験型イベントなど様々な趣向が凝らされた魅力的な企画となっており、選定には難航いたしましたが、社会の状況を反映した市民のニーズが高いものを中心に8事業を選びました。募集要項に記載されていた下記の選定・評価のポイントに加えて、「京都ならではの地域性に配慮されている」、「住まいに受け継がれてきた生活文化に直に触れられる機会となっている」、「参加者が問題を身近に感じられる工夫がなされている」などが重視された結果となっています。

<参考> 委員会日程および委員

○日時・場所

日時：平成25年9月21日（土）10:00～12:00

場所：京安心すまいセンター（アーバネックス御池ビル東館2階会議室）

○「すまいスクール」事業選定・評価委員会委員名簿（平成25年9月21日現在）

・委員長

高田 光雄（たかだ みつお） 京都大学大学院 教授

・副委員長

山本 壯太（やまもと そうた） 元NHK京都放送局長

・委員

西光 正至（さいこう まさし） 京都リビング新聞社 社長

玉村 匡（たまむら まさし） 弁護士 京都弁護士会

公害対策・環境保全委員会まちづくり部会長

秦 めぐみ（はた めぐみ） 京都秦家主宰

宮川 和久（みやがわ かずひさ） 京都市 都市計画局 住宅室 住宅政策課 企画担当係長

○選定・評価のポイント（「募集要項」より）

ア 事業の公益性

- ・市民のニーズを的確に捉え、日常生活において参考、活用、実践できる内容か。
- ・（過去に実施した実績がある場合）繰り返し行う必要がある内容か。
- ・一般市民および専門家・事業者等への普及啓発効果が高い事業であるか。

イ 事業の独自性・創意工夫

- ・すまいに関する新たな視点を受講者に感じさせる内容か。
- ・団体等独自の発想や経験を生かした内容か。

ウ 事業への意欲

- ・団体等は自らが主体となって事業を実施する意欲があるか。

エ 事業の発展性

- ・これからのすまい・まちづくりに貢献する内容か。
- ・他の団体等や他の地域への波及効果が期待されるか
- ・センターが実施する他の事業（すまいスクール出張版等）との連携が可能か。

オ 事業計画の妥当性

- ・事業スケジュール、集客数、プログラムの時間配分などが現実的で、実施可能な企画か。
- ・事業の目的が明確であり、それに対して適切な形式（講義・ワークショップ・イベントなど）が選択されているか。

カ 事業経費の妥当性（有料イベントのみ対象）

- ・タイアップ事業収支書の価格・品目が妥当であるか。